



ELECOM

ワイヤレス キーボード&マウス TK-FDP002 シリーズ ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム ワイヤレスキーボード*TK-FDP002*シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルでは「TK-FDP002*」シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。このマニュアルでは、一部の表記を除いて「TK-FDP002*」シリーズを「本製品」と表記しています。

■絵表示の意味

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。
- 「してはいけない」ことを示します。
- 「しなければならないこと」を示します。
- 「注意していただきたいこと」を記載しています。
- 「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。
- 「知っているとお便利なこと」を記載しています。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

- 警告**
 - 本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときや、本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、キーボードやマウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 - 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、キーボードやマウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 - 本製品の分解や改造、修理などをご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。故障時の保証の対象外となります。
 - 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
 - レシーバユニットはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

- 注意**
 - 本製品を次のようなところには置かないでください。
 - 日のあたる自動車内、直射日光のあたる場所、暖房器具の周辺など高温になる場所
 - 多湿なところ、結露をおこすところ
 - 平坦でないところ、振動が発生する場所
 - マグネットの近くなどの磁場が発生する場所
 - ほこりの多いところ
 - 本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからない場所で使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。
 - 本製品および電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

■電池について

- 注意**
 - 本製品には単4形アルカリ乾電池、単4形マンガン乾電池、単4形オキシライド乾電池、または単4形ニッケル水素電池を使用してください。
 - 電池は新しいものと古いものを混ぜて使用したり、分解したりしないでください。
 - 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

■お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

- シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

■ご使用にあたって

本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータの損失などの損害に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不用品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- キーボード本体.....1個
- マウス本体.....1個
- レシーバユニット.....1個
- 動作確認用単4形アルカリ乾電池.....4本
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです).....1部

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式にはDS-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。2.4GHz帯は、医療機器やBluetooth、IEEE802.11b/11g規格の無線LAN機器などでも使用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局*」が運用されていないか確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局*」との間に電波干渉が発生した場合は、すみやかに本製品のチャンネルを変更するか、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
- ※「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

- 警告**
 - 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
 - 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
 - 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式キーボードやマウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にキーボードから電池を取り出し、またマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします。
 - ※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

レーザーマウスにおける注意事項

本製品は、JIS C6802 及び国際標準化機関 IEC60825-1 に基づいた CLASS1 に準拠し、安全性を確保しておりますが、下記事項に十分注意した上でご使用下さい。

- 顕微鏡・虫眼鏡等の光学的手段を用いてレーザー光を観察したり、レーザーを肉眼で長時間覗き込むことは、目に悪影響を及ぼす可能性があるため絶対におやめください。(レーザー光には肉眼で見えないものもあります。)
- マウスの裏面を人の目に向けたる事は危険ですのでおやめください。
- レーザーセンサーはガラスや鏡の表面では正常に動作しない場合があります。
- パソコン用マウス以外の用途に使用しないでください。
- 範囲を超えた気温に製品がさらされる場合は、パソコンの電源を切り、気温が範囲内になるまで製品をお使いにならないでください。
- 正常に動作しない場合は、パソコンの電源を切り、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

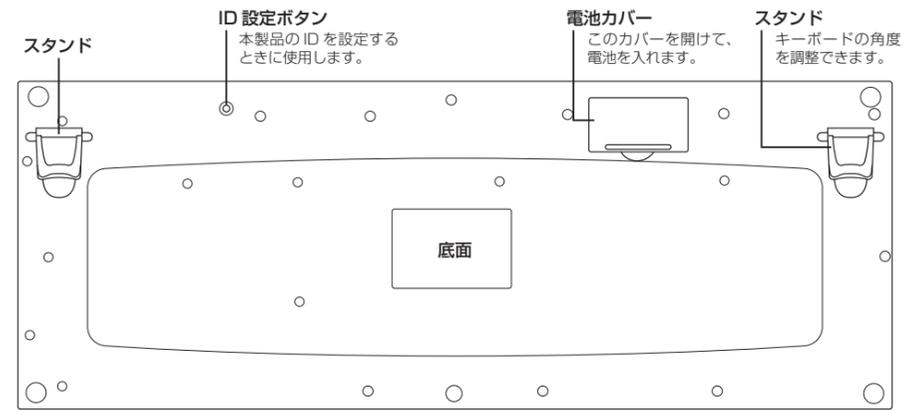
各部の名称とはたらき

■キーボード

- インターネット**
WEB ブラウザを起動します。
- メール**
メールソフトを起動します。
- 検索**
検索ウィンドウを表示します。
- お気に入り**
お気に入りを表示します。*1
- メディアキー**
メディアプレーヤーを起動します。
- 電池残量表示ランプ**
電池交換の時期をお知らせします。電池残量が少なくなると、一定時間赤く光ります。
- ポリウム**
Windows 全体のポリウムを下げます。
- ボリューム**
Windows 全体のポリウムを上げます。
- ミュート**
Windows 全体の音声出力を止めます。もう一度押すと、ミュートを解除します。
- 再生 / 一時停止**
音楽などのメディアを再生します。再生中に押すと一時停止します。*2

※1 WEB ブラウザがアクティブな時
※2 メディアプレーヤーなどがアクティブな時

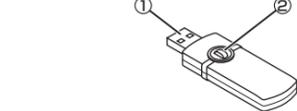
お客様の環境により上記の動作と異なる場合がございます。



■マウス

- ホイール**
指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。電池残量が少なくなったときは、ホイールが一定時間赤く光ります。
- 右ボタン**
パソコンの操作の右クリックに使います。
- 左ボタン**
パソコンの操作の左クリックに使います。
- 電池カバー**
このカバーを開けて、電池を入れます。
- ID 設定ボタン**
本製品の ID を設定するときに使用します。
- 電源スイッチ**
マウスの電源を入(ON) / 切(OFF)します。
- レーザーセンサー**
マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。* センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。
- 電池カバーオープンレバー**
このレバーを押すと、電池カバーのロックが解除されます。

■レシーバユニット



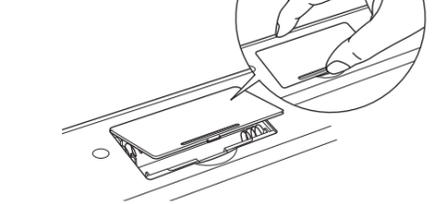
使用時の準備

キーボードの電池を入れる / 交換する

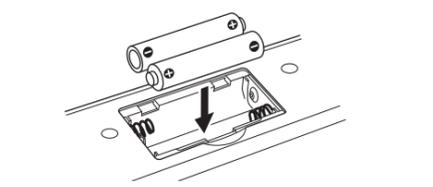
キーボードを使用するときは、単4形電池2本をキーボードに入れます。

- キーボードの電池残量が少なくなったときは、電池残量表示ランプが一定時間赤く光ります。

1 電池カバーにある切り欠きを使って、電池カバーを取り外します。

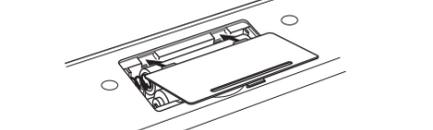


2 電池を入れます。



- 電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。

3 電池カバーの凸部分と、キーボードの凹部分の2カ所を合わせてはめ込みます。



マウスの電池を入れる / 交換する

マウスを使用するときは、単4形電池2本をマウスに入れます。

- マウスの電池残量が少なくなったときは、ホイールが一定時間赤く光ります。

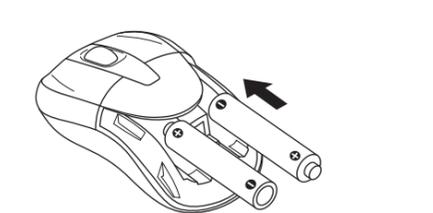
1 電池カバーオープンレバーを押します。電池カバーのロックが解除されます。



2 電池カバーオープンレバーを押しながら、電池カバーを開きます。



3 電池を入れます。



- 電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。
- 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が液漏れを起こし、故障の原因となります。

4 電池カバーを閉めます。



マウスの電源を入(ON) / 切(OFF)する

- キーボードの電源を入 / 切する操作はありません。キーボードは通常はスリープ状態で待機し、キーの入力があったときに自動的に復帰します。一定時間入力が無ければスリープ状態に戻ります。

■マウスの電源を入れる

本製品を使用するときは、マウスの電源を入れます。電源スイッチを ON の位置にスライドさせます。電池残量が少なくなったときは、ホイールが一定時間赤く光ります。



■マウスの電源を切る

本製品を使用しないときは、マウスの電源を切ることで、電池を節約できます。電源スイッチを OFF の位置にスライドさせます。



■スリープ状態から復帰する

マウスの右ボタンをクリックします。

レシーバユニットを取り付ける

本製品をはじめてご使用になるときは、次の手順でドライバをインストールする必要があります。

- Windows 標準ドライバがインストールされると、本製品が使用できるようになります。

次の手順でレシーバユニットをパソコンに取り付けます。

- Windows® 2000 の場合は、今までお使いになっていたマウスを接続したままにしておいてください。あとの「Windows 標準ドライバをインストールする」でマウスの操作が必要になる場合があります。
- 今までお使いになっていたキーボードやマウスがメーカーオリジナルのドライバや設定ユーティリティなどを利用している場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。他社製ドライバなどがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストール方法については、今までお使いのキーボードやマウスの説明書をお読みください。

1 パソコンを起動します。

- Windows Vista®、Windows® XP の起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
- Windows® 2000 の場合は、Administrator の権限をもつユーザーでログオンしてください。
- Windows® が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

2 レシーバユニットをパソコンの USB ポートに差し込みます。



- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- USB コネクタの端子部には触れないでください。
- 差し込みの際、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをされる恐れがあります。
- USB ハブ経由でも使用できます。ただし、USB ハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

3 このあとは、OS により動作が異なります。

- Windows Vista®、Windows® XP の場合
Windows 標準ドライバが自動的にインストールされます。
- Windows® 2000 の場合
・「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されなかった場合は、Windows 標準ドライバが自動的にインストールされます。
・「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、Windows 標準ドライバを手動でインストールする必要があります。
➡ 次の「Windows 標準ドライバをインストールする」へ進みます。

レシーバユニットを取り外す場合

レシーバユニットはホットプラグに対応していますので、Windows® が起動した状態でも取り外すことができます。

- Windows® の起動中に何度も抜き差しをくり返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は、Windows® を再起動してください。

Windows 標準ドライバをインストールする(Windows® 2000 のみ)

Windows® 2000 の一部の環境では、レシーバユニットを取り付けたあとにウィザード画面が表示されます。ウィザード画面が表示された場合は、次の各 OS の説明をお読みになり Windows 標準ドライバをインストールしてください。

本製品以外で現在お使いのキーボードでの操作

Windows® 2000 では Windows 標準ドライバのインストール時にマウスの操作が必要なことがあります。マウスまたはタッチパッドなどがないパソコンをご使用の場合は、下記をご覧ください。本製品以外で現在お使いのキーボードを使って操作してください。

Tab : 項目やボタンを移動します。
↑ / ↓ : 項目に選択肢がある場合に、選択肢の間を移動します。
スペース : キーを押すたびにチェックボックスをオン / オフします。
※ **左へ**、**OK**、**キャンセル** などのボタンを実行したい場合は、**Enter** を押します。

Windows® 2000 で「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合

Windows® 2000 では、ご使用の環境によってレシーバユニットを取り付けたあとに「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されることがあります。その場合は、「**本製品**」をクリックし、メッセージにしたがって Windows 標準ドライバをインストールしてください。

- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されなかった場合は、手動でのインストールは不要です。
- インストール途中で、「ドライバファイルの特定」画面が表示された場合は「検索場所のオプション」のチェックをすべてオフにして、次へ進んでください。



キーボード・マウスを使う

ID を変更する

レシーバユニット、キーボード、マウスの 3 つの ID を合わせて変更します。

- レシーバユニットを取り付けた状態で、パソコンの電源を入れます。
- 確実に電波を受信できるように、キーボードとマウスをレシーバユニットに近づけます。

- レシーバユニットの ID 設定ボタンを押します。レシーバユニット内のランプが点滅します。

- キーボード裏面にある ID 設定ボタンを押します。キーボードの ID が設定され、レシーバユニット内のランプが消灯します。

- レシーバユニットの ID 設定ボタンを押します。レシーバユニット内のランプが点滅します。

- マウス底面にある ID 設定ボタンを押します。マウスの ID が設定され、レシーバユニット内のランプが消灯します。

- キーボードやマウスを操作して、正しく動くか確認します。動かない場合は、手順 **3** ~ **6** を繰り返し、もう一度 ID を変更します。

- チャンネルを変更して混信を回避しても、近接した周波数を使用しているために、動作性能が多少低下することがあります。

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■ キーボードやマウスが正常に動作しない

- ➡ マウスがスリープ状態になっていませんか？
マウスの右ボタンをクリックしてスリープ状態を解除してください。

- ➡ スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、動作が安定するところまで、キーボードやマウスをレシーバユニットへ近づけてください。レシーバユニットがパソコン本体などの USB ポートに正しく接続されていない可能性があります。一度レシーバユニットを USB ポートから取り外して、接続し直してください。

- ➡ レシーバユニットとキーボードやマウスの距離が離れすぎているか、レシーバユニットが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。レシーバユニットの位置を調整するなどしてください。

- 本製品の動作範囲は、レシーバユニットとキーボード、レシーバユニットとマウスがそれぞれ半径 10m 以内です。使用環境によっては、約 10m の範囲内でも正常に動作しない場合があります。その場合は、動作が安定するところまで、キーボードやマウスをレシーバユニットに近づけてください。

- ➡ 本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。「ID を変更する」を参照し、本製品の ID を変更するか、他のワイヤレス機器のチャンネルを変更してください。

- ➡ 電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「電池を入れる / 交換する」(表面)を参照し、早めに新しい電池に交換してください。

- 本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。製品の流通過程で乾電池が自然放電し消費していることがあります。
- キーボードの電池残量が少なくなったときは、電池残量ランプが一定時間赤く光ります。
※ キーボードは通常はスリープ状態で待機し、キーの入力があつたときに自動的に復帰します。一定時間入力が無ければスリープ状態に戻ります。
- マウスの電池残量が少なくなったときは、ホイールが一定時間赤く光ります。
※ マウスを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。

- ➡ Windows 標準ドライバが正しくインストールされると、本製品が Windows® に「不明なデバイス」として登録されている可能性があります。本製品は通常は「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、「不明なデバイス」の削除方法を参照し、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

- ➡ マウスが正常に動作しないときは、ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

■ マウскарソールは動くが、ホイールが動かない

- ➡ スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

「不明なデバイス」の削除方法

Windows 標準ドライバが正しくインストールされると、「不明なデバイス」として登録されているときは、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「レシーバユニットを取り付ける」からやり直してください。

- 「不明なデバイス」が複数ある場合、削除をはじめめる前にどの「不明なデバイス」が本製品の認識情報であるかを確認してください。レシーバユニットを一度パソコンから取り外して、「不明なデバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。
- 以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

レシーバユニットをパソコンに接続した状態で、次の手順に従って「不明なデバイス」を削除してください。

1 デバイスマネージャを表示します。

- Windows Vista® の場合
1. [スタート] ボタンをクリックし、[コンピュータ] を右クリックします。

2. [プロパティ] をクリックします。



3. 「デバイス マネージャ」をクリックします。

- Windows® XP/2000 の場合

1. Windows® XP では、[スタート] ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ] を右クリックします。Windows® 2000 では、デスクトップにある [マイ コンピュータ] アイコンを右クリックします。

2. [プロパティ] をクリックします。
※ 画面例は Windows® XP の場合

3. [ハードウェア] タブをクリックします。

4. 「デバイス マネージャ」をクリックします。



- 2 「デバイス マネージャ」画面が表示されるので、「不明なデバイス」を右クリックし、[削除] をクリックします。

- 3 **OK** をクリックします。

- 4 レシーバユニットを取り外し、パソコンを再起動します。

- 5 「レシーバユニットを取り付ける」(表面) からやり直します。

キートップと違う文字が入力される

日本語キー配列のフルキーボードやテンキーボードを Windows Vista®、Windows® XP/2000 でお使いの場合、キーボードまたはテンキーボードをパソコンに接続して再起動すると、お使いになる環境によってはキーボードから正しく文字を入力できなくなることがあります。

これはお使いのキーボードを Windows® 自体が英語キーボードと間違えて認識するため起こる問題です。そのため、キートップに印字されている文字を入力しても実際の画面には異なる文字が表示されます。

- 例えばこんなふうになります。



101 英語キーボードへの誤認識の問題を解決する方法として対策ユーティリティである「USB キーボード 101>106 変更ユーティリティ」を弊社のホームページに用意しておりますので次の手順でご利用ください。

- 1 弊社ホームページよりユーティリティをダウンロードします。

- ダウンロード先
<http://www.elecom.co.jp/support/download>
トップページの「サポート情報」から入ることができます。
- [ダウンロード] ページにある一覧から [フルキーボード] または [テンキーボード] を選択し、ご購入いただいた製品の型番をお選びください。
- Windows Vista® と、他の OS でユーティリティが異なります。ご使用の OS に対応した「USB キーボード 101>106 変更ユーティリティ」をダウンロードしてください。
※ ホームページの内容変更によりユーティリティの場所が変更される場合があります。

- 2 ダウンロードしたファイルをダブルクリックして任意の場所に解凍します。

- 3 インストール・使用方法については、ユーティリティに添付されている「readme.txt」の内容をご覧ください。

基本仕様

製品名	ワイヤレスキーボード / ワイヤレスマウス
製品型番	TK-FDPO02 シリーズ
対応 OS	Windows Vista,XP,2000
対応インターフェイス	USB
キー配列	日本語 108 キー配列
キーピッチ	19mm
キーストローク	3.0mm
マウス分解能	800 カウント
電波周波数	2.4GHz 帯
電波方式	DS-SS 方式
電波到達距離	非磁性体(木の机など) : 約 10m 磁性体(鉄の机など) : 約 3m ※ 当社環境でのテスト値であり保証値ではありません。
寸法	キーボード : W458.0 × D170.0 × H20.0 mm マウス : W59.0 × D106.0 × H35.9 mm レシーバ : W22.7 × D70.0 × H12.3 mm
質量(電池含まず)	キーボード : 800g / マウス : 60g / レシーバ : 10 g
動作温度 / 湿度	5 ~ 40℃ / ~ 90%RH(ただし結露なきこと)
保存温度 / 湿度	-10 ~ 60℃ / ~ 90%RH(ただし結露なきこと)
対応電池	単 4 形アルカリ乾電池、単 4 形マンガン乾電池、単 4 形オキシライド乾電池、単 4 形ニッケル水素電池
動作時間目安	アルカリ乾電池使用時の目安 ※ 当社環境でのテスト値であり保証値ではありません。 キーボード 約 6 ヶ月 マウス 約 2 ヶ月

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。
【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL : 0570-084-465
FAX : 0570-050-012
【受付時間】
9:00 ~ 19:00
年中無休

保証規定

■ 保証内容

1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

■ 無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
(1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
(2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(シール・納品書など)をご提出いただけない場合。
(3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
(4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
(5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
(6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
(7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
(8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
(9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■ 修理

3. 修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合お客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます場合があります。6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの安全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■ 免責事項

8. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
9. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■ 有効範囲

10. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
11. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

ワイヤレスキーボード & マウス
TK-FDPO02 シリーズ
ユーザーズマニュアル
2008年1月7日 第1版
エレコム株式会社

- ・本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- ・本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- ・本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- ・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品のうち、戦略物資または業務に該当するものの輸出にあつては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- ・Microsoft®、Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他本書に記載されている商品名 / 社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。